

# 設 計 要 領

## 第 五 集

### 交通安全施設

【防護柵編】

平成28年8月

東日本高速道路株式会社

中日本高速道路株式会社

西日本高速道路株式会社

## <目次>

1. 適用	1-1
1-1 適用	1-1
1-2 防護柵の定義	1-1
1-3 適用すべき諸基準	1-1
2. 設置計画	2-1
2-1 設置区間	2-1
2-2 種別の選定	2-3
2-2-1 防護柵の種別および性能	2-3
2-2-2 適用種別の選定	2-6
2-3 形式の選定	2-11
2-3-1 防護柵の形式	2-11
2-3-2 適用形式の選定	2-13
2-3-3 土工区間のコンクリート防護柵(スリップフォームとプレキャストコンクリート製防護柵)の選定について	2-16
3. 構造諸元	3-1
4. 設置方法	4-1
4-1 防護柵の設置位置	4-1
4-2 防護柵の設置高さ	4-2
4-3 ガードケーブル端末、中間端末の使い分け	4-4
4-4 設置方法および端末処理	4-6
4-4-1 路側に設置する防護柵	4-6
4-4-2 分離帯に設置する防護柵	4-14
4-4-3 コンクリートシール区間の両面型ガードレール	4-16
4-4-4 連絡等施設のランプ分流ノーズ	4-16
4-4-5 暫定2車線道路における防護柵	4-18
4-4-6 積雪寒冷地における防護柵	4-19
4-4-7 函渠区間のガードレール・ガードケーブル用支柱の基礎	4-20
4-4-8 構造物部における鋼製防護柵支柱の地際部対策	4-22
4-4-9 構造物上に設置するベースプレート方式のガードレール支柱	4-23
4-5 異なる形式の防護柵相互の設置方法	4-25
5. 分離帯開口部の防護柵	5-1
6. 材料および表面処理	6-1
6-1 材料	6-1
6-2 表面処理	6-1
7. 設計、施工上の留意点	7-1
8. 縁石	8-1